

令和7年度 第7回逢妻地域会議 会議録

■日 時 令和7年11月19日（水） 午後6時30分～8時00分

■場 所 逢妻交流館 1階 多目的ホール

■出席者

＜委 員＞	都築 幸雄（会長）	岡部 千治（副会長）	加納 勝彦
	岡田 一	竹原田 力	杉浦 正司
	松崎 康則	松下 正治	西 澄弘
	岩内 輝義	今村 典夫	千葉 洋
	柿本 敏光	竹原田 力	

＜欠席者＞	原田 朋美	原田 裕美	鈴木 仁
-------	-------	-------	------

＜事務局＞	塚田 征弘（地域交流課 副課長）	前田 浩貴（地域交流課 担当長）
	深見 洸成（地域交流課 書記）	

■次 第

- 1 会長あいさつ
- 2 令和8年度事業の検討

■議 事（要約）

2 令和8年度事業の検討

3 グループに分かれて令和8年度事業の検討を行った。各グループでまとめた内容について発表を行い、全体へ共有を行った。

各グループでまとめた主な意見は次のとおり。

＜Aグループ＞

【検討テーマ】家具固定や備蓄の啓発チラシの作成について

＜実施目標＞

- ・啓発チラシの配布目標は令和8年10月ごろに決定した。

①共働相手と行う事業内容・依頼年度の検討

＜令和7年度＞

- ・自治区に対してチラシの配布を依頼する。
- ・看護大学に対してチラシに使用する挿絵の作成を依頼する。

＜令和8年度＞

- ・防災に関する情報について逢妻交流館、自治区ホームページへの掲載依頼を行う。
- ・地区内の医療機関等に対して掲載依頼を行う。
- ・小中学校へチラシの表紙に使用するポスターの作成を依頼する。
- ・ポスター作成にあたっては、事前に市防災対策課による出前講座を実施し、防災に関する教育を行ったうえで描くことを検討する。
- ・地区内企業へ防災用品の購入に使用できるクーポン券（チラシに掲載）の協力や、小中学校に依頼を予定するポスターの参加者記念品についての協力依頼を行う。

②取組内容の詳細の検討

- ・チラシは A4 サイズで作成し、イラストを多く使用することで、理解の促進と防災の関心を引くことを狙う。マグネット、吸盤等で設置し、常に確認できる形式にする。
- ・小中学校へのポスター作製については自由参加型とし、参加者には防災関連グッズを提供する。ポスターはふれあい祭り等で防災啓発のために展示を行う。

<Bグループ>

【検討テーマ】防災講座の内容、防災講座受講者の推薦人数等の検討

①受講する団体と人数

- ・各自治区の自主防災会役員から1名選出を依頼。
- ・自治区役員や消防団員にも防災講座への参加を促す。

②防災講座の概要

- ・自主防災会役員に対して防災士試験を受験する動機付けのため、事前に防災について学ぶ講座を開催する。
- ・講座は毎年実施し、防災士試験の実施前に行うことで受験の動機付けを行い、防災士試験の受験者数を増やしていく。
- ・防災講座の講師は市防災対策課へ依頼する。
- ・各区長に防災講座を行う理由を理解してもらえるように説明を行う。

<Cグループ>

【検討テーマ】家具固定や備蓄のチェックリストの作成について

<実施目標>

- ・チェックリストの配布目標は令和8年度の秋ごろ（防災訓練にあわせて）に決定した。

①実施年度及び依頼内容の検討

<令和8年度>

- ・自治区に対して備蓄品チェックの実施を依頼する。

<令和9年度>

- ・Bグループの検討テーマから地域住民の防災士資格の取得を進め、資格取得者が中心となり備蓄チェックを指導していく。

②取組内容の詳細の検討

- ・備蓄品のチェックは各家庭での実施とする。
- ・チェックリストはガイドブックのチェック表をもとにチラシ程度に作成して配布。
- ・備蓄品の啓発を自治区の総会や役員会などことあるごとに、随時実施する。実施は地域会議員（新旧）が行うこととする。
- ・住民が集まる行事など機会があるごと使用して意識を高めていく

●令和7年度 第8回逢妻地域会議

日時：令和7年12月17日（水）午後6時30分～

場所：逢妻交流館多目的ホール